

平成 25 年度事業報告

1. 概要（理事長：飯島直樹）

本部事業においては、事業計画に沿って概ねの事業を実行した。とりわけ小学校での実践的デザイン授業 SODA は回数を重ね、JCD の事業の核に成長した。隔年開催の国際交流事業「East Gathering」は 2013 年 10 月に東京で開催し、事業内容は大きく進展した。様々な組織や団体とのリンケージによる開催場面の拡充（公益財団法人日本デザイン振興会、工学院大学との共催によるシンポジウム開催）や、六本木ミッドタウン内 DESIGN HUB での JCD デザインアワード 2013 受賞作展覧会開催により、国際委員会+デザイン賞委員会+コミュニケーション委員会合同の事業展開となった。香港・ソウルからのデザインの交信によりアジアの空間デザインのレベルの高さが示され、East Gathering の開催は JCD の社会的認知向上に大きく貢献した。

2. 各事業の報告

（1）デザイン賞委員会（委員長：岩佐達雄）

（JCD デザインアワード事業）

JCD デザインアワード 2013 は、例年通り 6 月に公開審査を実行しました。応募者数は 448 点、内海外からは 31 作品が寄せられ、その中から 1 次審査ベスト 100 の作品 119（同票数のため）を 5 月に 1 次審査員 33 名にて選出、6 月 22 日に東京デザインセンターにて公開審査会を実施した。今年は部門別の応募を明確にしたことで、審査についても明確な進行状況であった。部門別ではショップ空間部門、公共生活空間部門が 100 作品以上の応募があり、次に食空間、サービスエンターテインメント空間部門が続いている。それぞれの応募数を考慮しながら部門ごとに銀賞そして金賞が選出された。海外からの応募は昨年よりやや落ち込んだが相変わらず中国の作品が多数を占めた。

審査員は飯島直樹、小坂竜、橋本夕紀夫、笈川誠の JCD 会員、外部審査員は浅子佳英、吉村靖孝、柴田陽子の各氏にお願いした。

銀賞以上 28 作品を選出、その中から金賞以上 10 作品を選び、さらにその中から大賞 1 点を決定した。今年から大賞は非公開としたが、割合意見がまとまり、発表のとおりとなった。その他、新人賞 2 点、審査員賞 5 点、銀賞 18 点が確定した。部門別にすることでその分野と他の分野の動向がはっきりしていて興味深い印象であった。時代を映しているということが良くわかった。

また今回から会員サービスの一環として会員は応募料を半額としているが、思ったより応募数が伸びなかった。

贈賞式は 2013 年 10 月 25 日、六本木の東京ミッドタウン、リエゾンセンターにて開催した。併せてパーティーと入賞作品の展覧会も行った。

大光電機株式会社より副賞の提供は、新人賞受賞の久保都島建築設計事務所／久保秀朗、都島有美の各氏に決定した。

また今年も EG のデザインセミナー及びトークセッションがあり、そこで大賞受賞者の中村拓志氏にスピーカーとして出席してもらい話をしてもらった。約 80 名参加。

(2) コミュニケーション委員会 (委員長：品川正之)

1. 連続デザインシンポジウム

(デザインシンポジウム事業)

デザイン賞委員会、国際委員会との共同事業である East Gathering Tokyo のシンポジウム部門を担当、詳細は国際委員会に譲ることとするが、香港、ソウルからのデザイナーを招き工学院大学教室において 200 人規模、六本木ミッドタウン 5 階リエゾンセンターにて 100 人規模の 2 回のセミナーを開催した。テーマはそれぞれ「3 都市のそれぞれのショッピング空間とデザインを語る」、「ショッピングをめぐる 3 都市からの報告とトークセッション」とし、3 カ国のデザイナーによる熱いシンポジウムとなった。今回の特徴は会場が大学であったり、デザインのメッカである六本木デザインハブであったことにより学生や一般の参加者が多く見られたことである。近年目標としてきた観客動員の形がほぼ実現できたように思う。

2. 機関紙 SHOKANKYO

SHOKANKYO081 を発行した。内容は Gensler インタビュー、JCD DESIGN AWARD 2013、JCD Product of the year 2013、East Gathering Tokyo 等。今年も年 1 回の発行となりました。

(3) 国際委員会 (委員長：武石正宣)

East Gathering 2013

TOKYO／SEOUL／HOUNGKONG

概要：

テーマ：混沌からアジアを考える

日程：2013年10月25日（金）-27日（日）

会場：六本木、新宿近辺（工学院大学新宿キャンパス含む）

参加予定デザイナー：東京 30名、香港・韓国 各10名程度

主催：JCD一般社団法人 日本商環境デザイン協会

共催：HKIDA 香港インテリアデザイン協会／East Gathering Seoul 実行委員会

公益財団法人 日本デザイン振興会／学校法人 工学院大学

East Gathering Presence

JCD DESIGN AWARD 2013受賞 28作品展 + 香港・ソウル招待作品展

日時：2013年10月20日～27日 11:00～17:00

会場：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー5F

DESIGN HUB

2) JCD DESIGN AWARD 2013 授賞式

日時：2013年10月25日 16:00～18:00

会場：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー5F

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

3) East Gathering Reception

Try -City Gathering Party

日時：2013年10月25日 18:30～20:00

会場：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー5F

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

定員:150名

4) East Gathering Forum (JCDシンポジウム SECTION 54)

3都市のそれぞれの、ショッピング空間とデザインを語る。

日時：2013年10月26日 14:00～16:30 (懇親会 17:00～18:00)

会場：工学院大学 (B-0663教室)

定員：200名

Moderator - 笈川 誠 (BAMBOO MEDIA)

東京 - 米谷 ひろし

香港 - One Plus Partnership Limited (Ajax Law/Virginia Lung)

ソウル - EUN-WHAN CHO

5) East Gathering Seminar (JCDシンポジウム SECTION 55)

ショッピングをめぐる3都市からの報告とトークセッション

日時：2013年10月27日 13:00～15:30

会場：東京ミッドタウン ミッドタウン・タワー5F
インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター

定員：100名

Moderator - 浅子 佳英

東京 - 中村 拓志

香港 - Seiki Mori

ソウル - Taehee Lim

(4) 財務委員会

本年度は、昨年同様菊池税理士により財務諸表を作成して頂き、その上で監事2名による監査報告としました。

25年度決算については、第2号議案にて詳細を報告致しますが、今年度の事業活動収入におきましては、昨年度に比べ、会費収入は、正会員数減により、若干減収となりましたが、事業収入が若干増であったため、昨年度と横ばいの3655万円となり、予算に対しては約101万円低い結果となりました。

事業活動支出は、ほぼ予算計画通りの3504万円の支出となり、収支合計としては、約150万円の黒字結果となりました。

従って、社内留保金は、712万円となりました。

一般社団法人への移行初年度としては、良い結果となりました。

(5) 業務委員会（委員長：星 明臣）

1：Soda 委員会（委員長：新藤 力）

（Soda 事業）

平成25年度の出前形式ワークショップは、12月2日に沖縄支部主催で沖縄市立真嘉比（まかび）小学校（6年生40名対象/講師22名）、関東地区では9月10日に神奈川県相模原市立鹿島台小学校（6年生94名対象/講師19名）、1月21日に中野区立平和の森小学校（4年生99名対象/講師20名）、2月13日と14日の両日杉並区立浜田山小学校（6年生121名対象/講師2日間で32名）で開催いたしました。特に印象的だったのが、鹿島台小学校で特別支援学級の子たちが参加してやり遂げてくれたこと。また、“心のツボ（いろいろな心を売る店）” “時間の無い人に時間を売る店” といった大変哲学的なお店まで登場して、子どもたちの創造力の可能性をあらためて実感いたしました。沖縄支部では平成25年度予算で機材を制作し、支部会員の積極的参加もあり独自開催の準備が整いました。今後の活発な活動に期待しています。関東地区ではここ2～3年定期的に開催要請のある定点校ができてきました。これらの学校を基点に活動を広げたいと考えています。また、北海道

支部・九州支部では独自に活動を継続されています。

タイアップ事業としては、7月に開催の「六行会チルドレンフェスティバル 2013」において、地元の子どもたちが演じる演劇「さあ冒険だ!」の舞台装置・小道具・衣装のデザインと制作を行うワークショップを実施。品川学園の中学生 14 名(美術部)を対象に4回のワークショップと1回のリハーサルで舞台を仕上げました。美術部の制作した舞台装置に、子どもたちの演技・音・音楽・照明が加わりダイナミックな演劇空間が生まれ、講師たちにとっても大変貴重な体験になりました。8月24日には関西支部が大阪住まい情報センターとタイアップした「夏休み!親子 de 体験セミナー/こどもたちと創る商店街」を開催。小学生親子 20 組(講師 15 名)が参加しました。モケイ制作に先立ち、近くの天神橋筋商店街を視察、最後に制作したモケイを並べて子どもたちの天神橋筋商店街をつくりました。

学会活動では、4月26～28日東海大学高輪キャンパスで開催された「こども環境学会 2013 年大会」にて、ポスターセッションに参加し Soda 活動を紹介いたしました。また、建築界との日本建築学会が昨年設立した「子ども教育支援建築会議」に参加し、建築界との情報交換・連携を図りたいと考えています。

2：賛助委員会（委員長：久米任弘）

当委員会は、正会員と賛助会員の相互のコミュニケーションを活性化させ、JCD の社会的地位の向上を図るために、平成 15 年度に設置された委員会です。賛助会員 3 名、正会員 4 名、で委員会を構成、11 年目の平成 25 年度は当協会の一般社団法人化とも合わせ、「変革期」と位置づけ、以下の項目を企画・推進してまいりました。

①賛助会員の本部・各支部連絡者名簿の更新

本部、各支部からの各種連絡事項の賛助会員の窓口となる連絡者の名簿を随時更新し、最新版を本部、各支部にて活用できるよう推進しました。今年度も随時、賛助会員各社の名簿の電子化を本部事務局にて図ってまいりましたので継続して、更新見直ししがし易くなっております。

②「JCD Product of the year 2014」の実施

JCD Product of the year は、関西支部から提案がありました、「賛助会員会社はその年の新商品を応募、正会員が投票し評価する」イベントです。今年は 8 年目ということで、継続実施と昨年からの新たな施策である支部賛助会社の参加も募り広く商品を会員に対して PR する事を第一にしました。昨年同様、第一回目の課題対応の為に電子投票方式からファイルの配布形式にしました。

今年度は、賛助会員から 21 点の応募があり、正会員の 158 名から投票があり投票率が 38%となり一応成功裏には終わりました。但し昨年に引き続き正会員の投票率低下が課

題として残りました。特に本年度は昨年提起のあった支部賛助会社の参加も二年目となりましたが、新商品応募点数は一昨年比で6点の減少となり、今後の賛助会社の応募点数増加のためにも正会員の投票率アップは欠かせない事と考えます。賛助会員企業では、正会員への新商品の認知を期待していますので、その証として来年度はなるべく多くの正会員の方の投票をよろしく願います。

賛助会員におかれましては、新商品の正会員への認知に役立ちますし、ファイル形式にしたことで、次回まで1年間正会員の手元においていただけますので奮って応募のをよろしく願います。

尚、全国の正会員を対象とした施策ですので規定上全国賛助会員だけが応募できます。活動の幅を広げるためにも支部賛助会員から全国賛助会員への変更をお勧めしますがプロダクトアワードに限りましては、賛助企業会員における JCD の魅力アップのため、引き続き支部賛助会員へ参加の幅を広げると共に新たな施策も今後検討します。

また、ここ7年に亘る一連の作業で正会員および賛助会員の方のEメールアドレスが把握でき、今後のインターネットを活用した情報連絡網構築の礎になりました。一部正会員の方でまだEメールアドレスを本部事務局にご連絡されていない方は、引き続きスピードアップ、コスト削減のために随時、事務局へご連絡いただきますようよろしく願います。

③賛助会員の拡大

引き続き JCD の発展への協力のため賛助会社の加入拡大のため、PR 活動を進めますが、過去より、日頃正会員皆様のお仕事上での繋がりのお声かけの協力が非常に大きいため引き続きの勧誘をお願いします。現在、今年度末で全国賛助 57 社、支部賛助 66 社となっております。

3：功労者選考委員会（委員長：芝田良治）

第 26 期当該委員会は、一般社団法人日本商環境デザイン協会“特別功労賞表彰規程”に則り、全国各支部より候補者推薦を頂き、平成 26 年度 JCD 特別功労賞表彰：候補者選考・推挙作業を行った。同時に、名誉会員・評議員・顧問・参与各職位候補者に関して、功労賞同様、全国各支部よりご推薦・ご協力を得て、候補者選考・推挙作業を行った。以下に、活動経過・答申内容を記述する。

記

■2013 年度 委員会構成（氏名：アイウエオ順）

石田 和代 名誉会員/関東、 白井 進 副理事長/関西、 大道寺 祥司 副理事長/関東、
太細 通 専務理事/関東、 星 明臣 業務委員長/関東、 山田 悦央 評議員/関西
芝田 良治 理事/関東、 計 7 名（欠員 1 名：故小谷実 名誉会員、2013.01.12 逝去）

■2013 年度 活動経過

- ・平成 25 年 10 月 05 日
委員会日程案、作成、委員宛電子メール配信・意見交換。
- ・平成 25 年 11/16 理事会
当該委員会活動内容の中間報告。役員選挙に関して、一部情報の早期回付依頼・受、承認。
- ・平成 25 年 11 月～12 月上旬
“特別功労賞候補者推薦文”他、雛形 4 種作成。“歴代受賞・就任者一覧資料”、加筆修正。
- ・平成 25 年 12 月 15 日
全国支部長宛、“2014 年度候補者推薦願・参考資料”一式、電子メール配信。
(功労賞・名誉会員他/推薦文書雛形、功労賞・名誉会員他/歴代受賞・就任者一覧表)
- ・平成 26 年 1 月～2 月中旬
各支部長宛、候補者推薦依頼内容再確認・詳細聞き取り、実施。
- ・平成 26 年 2 月 28 日 (公募期間) 締切。
全国各支部選出候補者/推薦状の集約、委員宛電子メール配信。
- ・平成 26 年 3 月 01 日～3 月 07 日間
、電子委員会。
当該委員間、候補者意見・情報交換。一部支部長、詳細聞き取り。
(電話・FAX・メール)
- ・平成 26 年 3 月 08 日 (土) 委員会開催/JCD 事務局
議長：星業務委員長 (芝田委員長、入院欠席)。
JCD 特別功労賞・支部功労賞/候補者： 資格確認・選考・推挙。
名誉会員・評議員/候補者： 資格確認・選考・推挙
顧問・参与/新規・継続候補者： 資格確認・選考・推挙
委員会継続検討課題：(1) OB 会員処遇 (2) 評議員会合・機能強化 (3) 褒賞/官対応
- ・平成 26 年 3 月 21 日 (金) 2014 年度候補者答申/理事会
(芝田委員長入院欠席の為、星業務委員長より理事長宛答申後、理事会へ付託)。
JCD 特別功労賞：1 名、評議員新任：3 名、計 4 名、候補者推挙。理事会、承認。
- ・平成 26 年 3 月 21 日～3 月 31 日
総会用“2013 活動実績”・“2014 活動計画”、委員会報告原稿作成。
.....
- ・平成 26 年 5 月 31 日 (土) 総会報告 (予定)。
2013 年度委員会活動実績、報告 (含、功労賞他委員会答申内容)。
2014 年度委員会活動計画、報告。

■平成 25 (2013) 年度 (平成 26 年度総会表彰対象) 功労者選考委員会 答申書

表彰：推挙候補者一覧/功労賞（所属支部・氏名：アイウエオ順）

種別	氏名・略歴他/下段	役職/会員種別/所属支部
JCD特別功労賞	金子 洋伸 （かねこ ひろのぶ）	支部長/正会員/九州支部
	1976年入会、会員歴38年。役員履歴（1987～2013）8期連続、理事・支部長。	
	推薦理由：九州支部の厳寒期に支部長として就任し、組織・活動立て直しに奮闘、九州福岡リーグの中核団体とし活動し、JCDの社会的地位向上に寄与した。JCDの代表的事業の一つに数えられる“Soda委員会活動”の生みの親としても評価される。長年の功績を称え、JCD特別功労賞候補者に推挙された。	
	以上1名	

表彰：推挙候補者一覧/支部功労賞（所属支部・氏名：アイウエオ・会員種別順）

種別	氏名・略歴他/下段	役職/会員種別/所属支部
支部功労賞	該当者不在	—

表彰：推挙候補者一覧/名誉会員候補者（氏名：アイウエオ順）

種別	氏名・略歴他/下段	役職/会員種別/所属支部
名誉会員 候補	該当者不在	—

就任：推挙候補者一覧（所属支部・氏名：アイウエオ順）

種別	氏名・略歴他/下段	役職/会員種別/所属支部・略歴他
評議員 新任	岩佐 達雄 （いわさ たつお）	理事・デザイン賞委員長/正会員/ 関東支部
	1982年入会、会員歴32年。役員履歴：1992年より連続22年理事就任、広報副委員長、初代功労者選考委員長、国際委員長、デザイン賞委員長等を歴任。本部事業・業務活動への貢献度大、として推挙された。	
評議員 新任	品川 正之 （しながわ まさゆき）	理事・コミュニケーション委員長/正会員/ 関東支部
	1997年入会、会員歴17年。役員履歴：2006年より執行役員・理事就任。一貫してコミュニケーション副委員長・委員長職位、歴任。現在のJCD機関紙商環境タブロイド版再刊への努力も記憶に新しい。広報分野への高い活動実績が評価され、推挙された。	
評議員 新任	金子 洋伸 （かねこ ひろのぶ）	支部長/正会員/九州支部

経歴・役員履歴、割愛（前記功労賞記載内容参照）。

以上、3名。

評議員 継続 (所属支部・氏名：アイウエオ順)

中山 久明/北海道 間宮 明雄/北海道
奥平 与人/関東 山本 忠夫 /関東
遠藤 博/中部 西川せいじ/中部
要 信行/関西 山田 悦央/関西
重本 孝/中国 沖本 弘至/中国 赤木 治仁/中国 西原 勝
/中国
井上 秀美/四国 東原 敦夫/四国 寒川 徹司/四国
在籍者、15名。

顧問 新任 該当者不在

顧問 継続 2011年度：林 英光、堀越 哲美
在籍者、2名。

参与 新任 該当者不在

参与 継続 2011年度：永見 真一
在籍者、1名

(6) 支部長会議（議長：加藤博正）

平成25年12月全国支部長を本部会議室に集めデザインアワードに付いてそれぞれの支部の立場から支部長に発表してもらい全国支部長会議をして理事会に提案した。

(7) 支部事業

北海道支部（支部長：長谷川 演）

平成25年度の事業方針

J CDという横のつながりを活かし、その活動を通して楽しめる事業を行う。

委員長会議

【概要】正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】毎月 第一水曜日に開催しました。

北海道支部総会

【概要】平成24年度活動及び収支報告、平成25年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】平成25年4月17日（水） NUTS RESORT DUOにて

札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル 1階

第15回 JCD 北海道支部デザインキャンプ

【概要】北海道の自然を体感しながら、時間を気にせず一晩デザインについて語り合う。

【日程】8月24日(土)～25日(日) 1泊2日 【参加人数】25名

【会場】札幌市郊外 滝野すずらん丘陵公園 セミナー会場：公園内 オトリゾー
ト滝野センターハウス・多目的ホール
(ゲスト) やじり 誠氏

【成果】毎回、道外のゲストの方をお呼びし、北海道にない刺激とワクワク感をもたらします。セミナー参加者は JCD 会員以外の方も多く、皆さん楽しくゲストと語りました。

SAPPORO DESIGN WEEK 2013 への参加

【共通日程】10月23～27日

【メイン会場】札幌駅前地下歩行空間

【概要】「いごこちの良いカフェの作り方」

カフェに関わる仕事をされているゲスト6名をお呼びし、いごこちの良いカフェの作り方や今後のビジョンを一般の人に告知。

【日程】10月25日(金) 第一部 18:30～19:30 第二部 19:40～20:40

【会場】札幌駅前通地下歩行空間キタサン広場

【ゲスト】市川草介氏 中村健一氏 東口圭氏 松田亮氏 鎌田順也氏 平尾哲氏
コーディネーター長谷川演

【成果】表題(いごこちの良いカフェの作り方)で地下歩行空間と言う場所柄一般の方々が興味を持たれ、多くの方が足を止め聞きいって下さり JCD の広報になりました。

クリスマスデザインパーティー

【概要】北海道インテリアプランナー協会との共催イベント、
ドレスアップして行う冬の恒例行事。

【日程】12月13日(金) 19:00 開宴

【参加人数】約70名

【会場】イベントホール アクティブワン 札幌市中央区南5条西6丁目
ニュー桂和ビル B1

【成果】毎年恒例の行事で、年末に少しお洒落してクリスマスパーティーを開催。
普段お話し出来ないデザイナー達・関係者・異業種の方々と交流しています。

Soda 桑園小学校

【概要】デザインを通しての社会活動。お店づくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組む。専門家が講評・評価し、子供たちに新たな発見や発想の機会を見

出させる。

- 【日程】①11月19日(火) ②11月26日(火) ③12月4日(水) (作品発表日)
- 【会場】桑園小学校 札幌市中央区北8条西17丁目
- 【対象】6年生130名(21チーム)
- 【講師】正会員6名、賛助会員2名、ボランティア5名、その他素材ご提供企業多数
- 【成果】デザイン・仕事の楽しさを伝え、実践していただき、モックアップ等楽しく作業されました。最終日は自分たちの作品をプレゼンテーション方式で発表してくれ、一人ひとりが大人っぽく真剣に、楽しく説明してくれました。

鍋塾

- 【概要】今回は正会員のみでの参加で開催しました。
それは支部総会の懇親会で賛助会員・新会員候補者の多くと交流し増員に繋げる予定の為。
- 【日程】3月14日(金)19:00～21:00
- 【会場】「ふう(風)」札幌市中央区南4西4すずらんビル1階
- 【成果】来年度の支部の有り方と増員対策等話し合う事が出来、今後、積極的に会員が活動に参加する雰囲気が出来ました。

東北支部(支部長:阿部秀夫)

平成25年度においても、H23/03/11の東日本大震災の影響により、東北支部会員においては、震災復旧工事に多くの時間を必要とし、特に福島地区においては、深刻な原発問題が現在も進行中であり、協会活動を積極的に遂行する環境にありませんでした。

H25/05/14: 東北支部幹部会議

- ・平成25年度本部総会報告
- ・平成25年度支部総会準備会議
- ・賛助会委員長送別会
- ・賛助会員企業展示会参加(DAIKO)

H25/07/20: 新正会員推薦(千葉義人)本部承認

H25/07/26: 賛助会員企業展示会参加(ダイナワン)

H25/08/09: 東北支部幹部会議

- ・平成25年度支部総会準備会議

H25/08/16~18: 東日本大震災被災地視察

- ・釜石、大船渡、陸前高田、気仙沼、南三陸町、石巻
- ・亘理町、山元町、新地、相馬、浪江町、他

H25/10/10: 青森地区幹部と支部総会開催協議

H26/02/21: 平成25年度JCD東北支部総会開催

- ・宮城地区にて開催

- ・新正会員紹介
- ・平成 26 年度人事検討
- ・平成 26 年度以降の活動内容検討

関東支部（支部長：小田秀樹）

***会員の増強と活動資金を増やす方法を試みる**

今期は活動方針に基づき、本部活動等にも積極的に参加し、イベントに参加いただいた、若い業界員に積極的に声かけを行なった。結果、支部会員の退会と新人会員の比率は少なく収まっている。又、賛助会員も他業界団体の紹介で会員企業が増えた。今後も、積極的に会員増強を図る。

(1) 研究セミナー委員会：高村委員長

- ・6月20日（木）、8月7日（水）、11月14日（木）に委員会を開催し、今後のセミナーの為の計画を話し合った。
- ・6月27日（木）Glass Luce の会場を御借りしてバーゼルワールド、スイスデザイナーズイベント等のトークを夏目委員、上垣内会員、高村にて開催し、30名程参加いただいた。
- ・広報委員会と連携し、関東支部・機関誌でトークの紹介記事を掲載した。
- ・今期はその後、本部海外交流委員会「East Gathering」に向けてセミナー調整を行なった為、純粹なトークが開催できなかった。
- ・本間工芸さんから段ボールを用いたディスプレイ、什器の展開素材の提案を受け、次回トークの合間に紹介項目として検討。
- ・3月にトークを開催して、今期最後の開催とする。

(2) 支部賛助委員会：品川委員長

- ・7月17日（水）、9月18日（水）、10月16日（水）、2月27日（木）に定例の委員会を開催し、JCD 正会員、賛助会員相互の向上の為の、意見交換を行なった。
- ・11月27日（水）から12月1日（日）の日程で、関東支部・海外視察旅行を企画、実行した。
- ・広報委員会と連携して、関東支部・機関誌に関東支部賛助会員企業の紹介記事を掲載した。

(3) 省エネ CO2 削減委員会：芝田委員長

- ・今期「LED 光源・照明/省エネ・CO2 削減セミナー」として、特定非営利活動法人 LED 照明推進協議会（略称、JLEDS）のシンポジウム“LED 照明シンポジウム 2013、9月10日（火）開催、品川区立総合区民館/会場 “企画に賛同・相乗りし、JCD 会

員枠として 30 名分無料招待枠を確保し、関東支部会員宛に発信し、案内募集を行なった。

- ・省エネ・CO2 削減施策において、先行する住宅・オフィス部門の優良作品について、情報収集に努め、幾多のセミナー・アワードから、環境省の推薦する“省エネ・照明デザインアワード”受賞作品が、当該業界に類似・影響対象であると認識し、同コンペ 2014 の 1/21 受賞作品公開セミナー情報を関東支部会員宛に発信し、同セミナー参加を呼びかけた。
- ・店舗・売場における省エネ化実績事例の情報集約・発信として、東日本大震災発生以降、暫く活動が滞っていた“電化厨房ドットコム”（2009 年省エネセミナー開催済）の運営母体が、東京電力より、一般社団法人日本エレクトロヒートセンターに正式移行し、今夏より活動が開始された事を契機に、再開された同法人のメールマガジンを関東支部会員宛に配信を行なった。

(4) 広報委員会：古川委員長

- ・今期から、年 2 回の発刊を総会特集号として、総会直後に 1 回発刊し、その後夏号・冬号（現在作成中）と発刊及び発刊予定
- ・新支部長体制で JCD 関東ネットワーク紙面のマイナーチェンジ、特集記事「あころ～重鎮のデザイン回顧録」を増やし、より紙面を充実させた。
- ・賛助会員の露出を増やす為、表紙デザイン写真を賛助会員のプロダクト写真を使用した。
- ・印刷媒体の配信は夏号のみとして、総会特集号・冬号は PDF でネット配信を試みた。

(5) メディア委員会：吉田委員長

- ・活動テーマ「情報の共有化とコミュニケーションの活性化」
- ・（月例会更新）“トクトーク” 6 月（インテリアデザイナーが画像で語る）
7 月（藤原次郎の映像世界）
- ・（パーティー更新）8 月（ロイヤルガーデンカフェ青山）、12 月（東京メインダイニング）
- ・（ブログ更新）10 月（サスティナブルリゾートに挑戦）、11 月（連休の中日）
- ・（ネットワーク更新）9 月号 PDF
- ・（ページ改訂）団体の名称変更、正会員リスト改訂、組織表の改訂
- ・（ページ修正）50 周年関連事項の削除及び各ページの動作調整
- ・（各部の整理）バックナンバー整理、ブログ&本部情報移動、HTML 表示変更、ポップアップ表示

(6) 交流委員会：笈川委員長

- ・関東支部会員及び関東支部賛助会員相互の交流を深める事と、新規会員の獲得を目的に、半期に1度（夏・冬）のパーティーイベントを開催
- ・夏のパーティー（8月/青山「ロイヤルガーデンカフェ」）にて開催
持ち時間3分の「近況報告トーク」を実施。顔と名前（実績）が一致しない会員の交流を促した。
（参加者98名/賛助会員4社）
- ・冬のパーティー（12月/渋谷「東京メインダイニング」）にて開催
忘年会も兼ねた交流イベントという事で、バンド演奏（JCDバンド・片山バンド）を中心にパーティーを構成した。
（参加者101名）

(7) 特別委員会：東野委員長（代理小田）

- ・今年11月に、本部海外交流委員会「East Gathering」と「JCDデザイン賞」等の企画が六本木と新宿の「工学院大学」で行なわれ、関東支部の会員多数が企画・運営のお手伝いを行う。
- ・11月末に「賛助委員会」の協力で「海外研修旅行」を実施した。

中部支部（支部長：平井 充）

4月

- 「JCD中部支部全体会議1」
-4月5日（金）/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室
- 『春の奥多治見遠足会』
-4月20日（土）/多治見アーティストビラージュ、永保寺等
・日本色彩学会くらしの色彩研究会とJCD中部支部篤志での遠足会。

6月

- 「JCD中部支部全体会議2」
-6月7日（金）/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

7月

- 「JCD中部支部賛助委員1」
-7月4日（木）/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

8月

- 「JCD中部支部全体会議3」
-8月8日（木）/ナディアパーク 7F ラボ 2号会議室

9月

- 『JCDビアパーティ』

- 9月5日(木) 丸栄百貨店屋上ビアガーデン 名古屋市中区栄
・会員、賛助会員での親睦ビアガーデンパーティ

10月

- 「JCD 中部支部全体会議 4」
-10月29日(火) /ナディアパーク 7F ラボ2号会議室
- 『メッセナゴヤ 2013 名古屋商工会議所+中部デザイン団体協議会 デザインなんでも無料相談“それはデザイナーに聞け!”』(無料相談会)
-11月13日(水) ~16日(土) /名古屋港金城埠頭ポートメッセなごや
・中部15のデザイン団体によるデザイン団体協議会と名古屋商工会議所協同で各デザインジャンルでの無料相談コーナー実施。JCD 中部支部で企画プロデュース。3回目の開催

12月

- 「JCD 中部支部全体会議 5」
-12月20日(金) /ナディアパーク 7F ラボ2号会議室

2010/1月

- 『JCD 文化祭 JCD・DESIGN=f(x)』
 - * エキシビション(展覧会、国際陶磁器フェスティバル 2014 タイルコンテスト表彰式)
-1月22日(水) ~27日(月) /ナディアパーク 4F デザインギャラリー
・中部支部会員、中部支部参加賛助会員、一部招待作品なども加えて総合的な展覧会を開催。同時に国際陶磁器フェスティバル 2014 プレイメントとして、美濃エリアのタイル事業社の製品を応募して頂き、中部支部で審査して表彰を行った。
 - * シンポジウム
-1月26日(日) /東邦ガス 大ガスホール
 - ・「商環境デザインとは何か？」をテーマに飯島理事長、野井成正氏、神谷利徳氏、垂見和正氏をパネリストに迎え、コメンテーター加藤和雄氏、コーディネーター平井支部長という JCD の布陣でトークセッションを行った。

2月

- 『デザイントリプレックス 10』
 - 2月1日(土) ~6日(木) /エキシビション/ナディアパーク 2F アトリウム
 - 2月5日(水) /シンポジウム/ナディアパーク 6F セミナールーム
 - ・今回は JCD、SDA、DSA の三団体で優秀作品と評価を受けた「JP タワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク」の計画者、デザイナーの洪恒夫氏、湯澤幸子を招いて講演を行って頂いた。
- 『DESIGN FORUM2014 空間デザインの新たな潮流』(北陸地区)
-2月15日(土) 金沢市民芸術村パフォーミングスクエア

- ・恒例の北陸地区における三団体のデザインフォーラム。今回はエキシビションも一日だけの開催。三団体の金賞受賞者をパネリストに迎えてトークセッション。当日の大雪のため中村氏のみ電話による参加となった。

3月

● 『CCDO アオード 2013』 ナディアパーク 4F デザインギャラリー

-3月26日(水) /表彰式

-3月26日(水)～31日(月) /エキシビション

- ・2年ごとに開催される15のマルチプルなデザイン団体による中部デザイン団体協議会が選ぶ優秀なデザイナーのアオード。今回 JCD 中部支部は亀井寿子氏を候補とし、入選となった。

関西支部 (支部長：長町志穂)

■ 25年度 of 取組みにあたって

- ・「JCD 関西の見える化」「デザインによる社会貢献」を2大柱とする活動の実施
- ・役割分担の明確化 (全員分担への再トライ)
- ・会員と賛助企業メリットの見える化

■ 実施活動報告

1. 社会貢献による「JCD の見える化」事業の実施

■ SODA 事業 【委員長：中村裕輔】

『子供たちと創る商店街』(8/24 実施)

- ・大阪市とのタイアップで、天神橋商店街の観察ワークショップを含めた「店舗の模型製作」を実施。
- ・あいにくの悪天候にも関わらず、35組が参加。JCD 関西支部会員も多数参加し、盛況であった。

■ 公共イベントへの参画 (水都大阪フェス 2013) 【委員長：辻村久信】

『世界のバル・ミュージアム』 (10/11～14 実施)

- ・水都パートナーズ (大阪市・大阪府) 主催の地域を代表するイベントへの「デザイン協賛」
- ・協賛企業 24 社、参画デザイナー 11 名。新規賛助企業新入会を誘導する目的もあり。
→ 2 社
- ・イベントの核施設としての「カウンターとバックパネル」のデザイン制作。

2. 他団体共催事業を活用した支部活性化と懇親

■ 大阪デザインサロン 【JCD 担当：山田悦央・白井進】

- ・第6回 7/16 「クリエイターがつくるバードハウス展 出展説明会」 芳野大樹氏

「動画で見るミラノサローネ 2013」 能口仁宏氏

- ・第7回 8/19 「ブランド戦略としての色づかい！」 河野万里子氏
- ・第8回 9/24 「激変する世界の都市照明デザイン」 長町志穂
- ・第9回 10/21 「デザイナー組織の未来」
- ・第10回 11/25 「車両デザイン」「デザインの権利保護」 南井健治 他
- ・第11回 12/24 「TuTuMu exhibition」 酒井コウジ 他
- ・第12回 1/20 「デザインサポートPJ」 デザインの権利保護 大阪府リーガルチーム
- ・第13回 2/24 「バッグ素材から見える新しいデザイン」 トップラン川上高志
- ・第14回 3/20 「有機EL照明、薄膜太陽電池、完全閉鎖型植物工場のご紹介」 三菱化学

■日本の空間デザイン展（JCD/JID/SDA/DSA）

11月25日～29日 大阪市市庁舎ホワイエでの開催

■関西学生シンポジウム（JCD/JID/JIDA）

2014年3月7日 DAIKO 電機SRにて開催

3. 情報発信の強化（Facebook, HP, JCD 関西誌）

JCD 関西誌：【委員長：岡島 昇】機関誌発刊

Facebook：昨年並みの状況。

Home Page：更新

4. 懇親イベントの実施

- 夏のビアパーティ 2013年8月24日実施 参加者約15名
- クリスマスパーティ 2013年12月3日実施 参加者約60名
- デザイナーズニューイヤーパーティ（USD0）2014年2月1日 参加者約100名

■活動をふりかえって

「デザイン団体だからこそできる社会貢献」を柱にし、活動を集中化させた1年。2つの社会的な活動は大きな収穫があり、今後のデザイン団体としてのありようを示唆したと感じている。

「懇親会」の再生という意味でクリスマス会は充実したイベントとなった。

中国支部（支部長：深田勝哉）

25年度の活動方針は、「魅力あるJCD中国支部」がテーマです。

会員・賛助会員、相互の親睦を図りながら支部活動を計画通り進めてきました。そして、支部活動の中心となる「広島デザインデイズ」を成功させるべく、他団体との連携を図りながら10月の本番を迎えることができ、JCDをアピールすることができたと感じています。現在は広島を中心としていますが、平和都市広島をテーマに、世界に飛び出していけるイベントとして育てていきたいと考えています。

このイベントが、支部の活性化、会員・賛助会員のモチベーションアップ、新規会員の獲得にもつながる事ができたと考えています。

- 4月 第一回 広島デザインウィーク2013 準備委員会 全体会議 (4/27日)
JCD中国支部総会 委員会編成 25年度スケジュール確認 (5/11日)
- 5月 第二回 広島デザインウィーク2013 準備委員会 (5/28日)
25年度総会への参加 (5/25・26日)
- 6月 第三回 広島デザインウィーク2013 準備委員会 全体会議 (6/28日)
- 7月 第四回 広島デザインウィーク2013 準備委員会 (7/26日)
第二回 中国支部例会 (7/20日)
- 8月 第五回 広島デザインウィーク2013 準備委員会 全体会議 (8/9日)
- 9月 第六回 広島デザインウィーク2013 準備委員会 全体会議 (9/20日)
第四回 中国支部例会 (9/20日)
- 10月 広島デザインデイズを3日間開催 会場=広島ガストピアセンター
(10/25~27日)
デザインアワード受賞作品展示、小坂竜氏を迎えてのセミナー、会員パネル展示
- 11月 第五回 中国支部例会 (中・四国合同例会) 瀬戸内国際芸術祭見学
11月3・4日小豆島にて合同例会、小豆島・直島にて瀬戸内芸術祭見学
- 12月 中国地区デザイン団体との合同クリスマスパーティー HICA・JCD・SDA・学生その他 (12/14) 同時開催、(広島デザインウィーク2013の反省会)
- 1月 第六回 中国支部例会 & 新年会 (1/25)

四国支部（支部長：香川眞二）

■今年度は、四国、香川県を中心に第2回 2013 瀬戸内国際芸術祭が開催され、JCD として、芸術祭うみあかりプロジェクトに会員のモチベーションUP となる様、参加協力しました。そして、11 月の中・四国支部合同例会・合同研修・芸術祭の見学、また、正会員、賛助会員との親睦を図りながら、『魅力ある四国支部とは』、11 月の中・四国支部合同例会・合同研修・芸術祭の見学、また、正会員、賛助会員との親睦を図りながら、『魅力ある四国支部とは』、『新規会員増強計画とは』について、常に議論しているところであり、よりよい支部活動をしていこうと考えております。SODA 事業は検討中であり、活動には至りませんでした。

H25 年 4 月 四国支部例会（4/7・日）

花見（4/7・日）

デザインアートハル展示（設営 4/6・土、開催 4/7・日～4/14・日） ←

女木島ビーチアパートにて

※瀬戸内国際芸術祭 2013・春季 参加協力（～4/21・日）

5 月 四国支部委員長会（5/15・水）

九州総会参加（5/24・金 - 26・日）

※高松うみあかりプロジェクト参加協力（4/18・木～9/1・日）

6 月 四国支部例会（6/21・金）

ミラサローレポート

※高松うみあかりプロジェクト参加協力（4/18・木～9/1・日）

7 月 四国支部委員長会（7/20・土）

※高松うみあかりプロジェクト参加協力（4/18・木～9/1・日）

※瀬戸内国際芸術祭 2013・夏季 参加協力（7/20・土～9/1・日）

8 月 四国支部例会・・・愛媛会員との交流例会（松山市内にて）

※高松うみあかりプロジェクト参加協力（4/18・木～9/1・日）

※瀬戸内国際芸術祭 2013・夏季 参加協力（7/20・土～9/1・日）

9 月 四国支部委員長会（9/14・土）

※高松うみあかりプロジェクト参加協力（～9/1・日）

※瀬戸内国際芸術祭 2013・夏季 参加協力（～9/1・日）

- 10月 ※瀬戸内国際芸術祭 2013・秋季 参加協力 (10/5・土～11/4・月)
- 11月 中・四国支部合同例会 (11/3・日～11/4・月)
 中・四国支部合同研修 (瀬戸内国際芸術祭)
 ※瀬戸内国際芸術祭 2013・秋季 参加協力 (～11/4・月)
- 12月 四国支部例会 | 忘年会 (12/13・金) ←大光電機にて開催
- H26年2月 四国支部委員長会 (2/18・火) . . . 来年度行事予定作成
- 3月 平成25年度臨時理事会参加 (3/21・金)

九州支部 (支部長：金子洋伸)

- 4月15日(月) 九州支部月例会
- 4月18日(水) 総会担当者黒川温泉夢龍胆最終打ち合わせ
- 5月16日(木) 九州支部月例会
- 5月17日(金) FDL理事会・総会
- 5月24日(金) JCD総会前夜祭
- 5月25日(土) JCD定時総会 in 黒川温泉
- 5月26日(日) JCD総会オプションツアー阿蘇観光
- 7月19日(金) 九州支部月例会
- 8月10日(土) 防府デザインスクールキャラバン
 (防府商工会議所主催、防府市内の中学校6校より希望者約60名)
- 8月27日(火) デザインスクールキャラバン会議 (荒井会員・山村会員)
- 9月10日(火) FDL運営会議
- 10月26日(土) 九州支部イベント (有田にて陶芸教室)
- 11月5日(火)～8日(金) JCDデザインアワード展2013 (SDAと合同)
- 11月22日(金) 九州支部月例会 (陶芸作品発表会)
- 11月25日(月) 第15回デザインスクールキャラバン (福岡市南当仁小学校)
 テーマ「私たちの未来もまち」校区を中心に天神地区を計画
- 12月13日(金) 九州支部月例会&忘年会
- 12月18日(水) 福岡デザイン界大望年会
- 1月24日(金) 九州支部月例会&新年会

5月に開催されました黒川温泉でのJCD定時総会へのご参加及びご協力ありがとうございます

ございました。

九州支部ではNPO法人FUKUOKAデザインリーグに参画しておりますが、中でも11月に福岡市南当仁小学校で開催されたデザインスクールキャラバンは15回目を迎え、今回もJIA・DSA・SDA・JAGDAとJCDの5団体が参加し行われました。また、関連事業として8月には防府において市内の中学生約60名を対象にスクールキャラバンを開催致しました。

10月には久しぶりに有田での陶芸教室を開催致しました。作品は11月定例会でお披露目となり、その後の懇親会は大いに盛り上がりました。

最後になりますが、私、金子は今年度で九州支部長を退き、新支部長へとバトンを渡します。今後は新支部長を中心に新生JCD九州支部を作り上げてまいります。これからもJCD九州支部にご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。ありがとうございました。

沖縄支部（支部長：平良玄峰）

- 3月18日 全体ミーティング（今年度の活動内容検討）
- 4月18日 全体ミーティング（今年度の活動内容検討）
- 6月11日 全体ミーティング（支部内委員会設立）
- 9月24日 全体ミーティング（夕涼み会の方向性・SODA学校選定）
- 10月15日 全体ミーティング（夕涼み会のスケジュール・役割分担）
- 10月26日 沖縄支部主催イベント・夕涼み会
- 11月7日 全体ミーティング（夕涼み会の報告・SODAスケジュール）
- 12月2日 SODA 真嘉比小学校
- 12月2日 沖縄支部忘年会

去った10月に行われた交流会主体の夕涼み会は、会員・賛助会員の拡大及びJCD沖縄支部の認知度をあげる為のイベントとして同業・異業種も含めた交流会をもちました。参加人数は、沖縄支部会員21名＋会員メンバーの社員1名＋ゲスト49名＋学生5名の計76人で、イベントを通して支部賛助会員×2社の加入に繋がりました。

3. その他会務に関する事項

（1）会務などの状況

総会（1回）

平成25年度定時総会

期日：平成25年5月25日 会場：黒川温泉 夢龍胆

社員出席：304（内委任状238、議決権行使19）名

理事会（3回）

- 第1回定例理事会 期日：平成25年5月25日 会場：黒川温泉 夢龍胆
出席理事：21名
- 第2回定例理事会 期日：平成25年11月16日 会場：JCD事務局
出席理事：23名
- 第1回臨時理事会 期日：平成26年3月21日 会場：JCD事務局
出席理事：18名

(2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、4委員会活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2014に参加した。

特定非営利活動法人ユニバーサルイベント協会「第9回 ユニバーサルキャンプ in 八丈島」、日本経済新聞社「JAPAN SHOP2014」、「建築建材展 2014」、株式会社中川ケミカル「第18回CSデザイン賞」、アメリカ広葉樹輸出協会「アメリカ広葉樹家具デザインセミナー」等への協賛・協力を行った。

4. 会員の移動状況

	24年度期末	年度内増	年度内減	25年度期末
正会員	441名	9名	23名	427名
賛助会員	124社	13社	13社	124社

5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第8条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の23名である。

・退会申し出による者 20名

（北海道支部） 澤田彩子、高森雄一、新田廣司、二本柳慶一

（東北支部） 前田祥史

（関東支部） 井口幸子、太田 満、官浪辰夫、小橋 準、豊永 臣、中村哲也、
平田裕二、室井淳司、山下 勇

（中部支部） 棚橋哲朗

（関西支部） 亀井克二、酒井浩司、酒井礼子、藤井清幸、山本喜三郎

・死亡による者 1名

（中部支部） 玉置文雄

- ・会費未納による者 2名
（関東支部） ちばまさゆき
（沖縄支部） 赤嶺基清